

自転車で公道を走る時は交通法規を守りましょう!

JCF 公益財団法人 日本自転車競技連盟広報誌

yclism ech
シクリスムエコー
www.jcf.or.jp

シクリスムエコー No.225
2017年6・7月号



全日本選手権ロード優勝の畑中



第86回 全日本自転車競技選手権大会ロードレース	2
男子エリート・ロードレースランキング	5
第34回 全日本BMX選手権大会	6
第64回全日本プロ選手権自転車競技大会トラックレース	7
平成29・30年度 新役員の紹介	8
平成29～32年度 評議員名簿	9
維持会員 ご賛同方お願い / 平成28年度 維持会員	9
競技大会結果	10
NEWS	12
連盟の動き / 今後の大会予定	13
各大会日本代表選手団	14
第20回ツアー・オブ・ジャパン	16
第82回 全日本選手権自転車競技大会トラックレース	19
ジャパントラックカップ I & II	22



この広報誌は、
競輪の補助により
作成しました。

<http://hojo.keirin-autorace.or.jp>

86th Japan National Championships ROAD RACE in *HASHIKAMI* 第 86 回 全日本自転車競技選手権大会ロードレース



男子エリートのパレードスタート、右端が浜谷町長。



スタート前の
浜谷町長

集団の別府



6月23日～25日、第86回全日本選手権自転車競技大会（男子エリート、男子U23、女子エリート）、第21回全日本選手権個人タイムトライアルロードレース、2017日本パラサイクリング選手権ロード大会が青森県階上町において行われた。

男子エリートロードレースにおいては、初めてチームカーを走らせる記念すべき大会となった。

地元階上町の大きな声援のなか大会は開催され、最終日の男子エリートロードにおいては、浜谷豊美階上町長もパレード走行を体験した。

男子U23ロードレースは、シマノレーシングの横山航太が初優勝。女子エリートロードレースは、FDJの與那嶺恵理がレース序盤から独走体制となり、2位に7分差をつけて連覇。男子エリートは終盤6名のトップ集団から先行した、チームUKYOの畑中勇介が見事逃げ切り、初めてチャンピオンの座についた。



男子エリート、レース終盤のトップ集団



U23のパレード走行



U23 横山のフィニッシュ



女子、與那嶺と唐見



女子のメイン集団

【競技結果】

第86回全日本選手権自転車競技大会
ロードレース(2017/6/23-25 青森・階上)

ロードレース 男子U23 (210km)

1	畑中 勇介	東京 UKYO	5:32:46
2	別府 史之	JPCA Trek	5:34:29
3	木村 圭佑	滋賀 シノレーシング	5:34:29
4	鈴木 龍	宮城 BS アンカー	5:34:29
5	西村 大輝	東京 シノレーシング	5:34:29
6	早川 朋宏	愛知 愛三工業	5:34:29

ロードレース 男子U23 (140km)

1	横山 航太	長野 シノレーシング	3:39:05
2	野本 空	愛媛 明治大学	3:39:07
3	山本 大喜	奈良 鹿屋体育大	3:39:10
4	安田 京介	京都 京都産業大	3:39:55
5	小山 貴大	群馬 シノレーシング	3:40:00
6	岡本 隼	和歌山 愛三工業	3:41:24

ロードレース 女子U23 (112km)

1	與那嶺恵理	茨城 FDJ	3:17:21
2	唐見実世子	茨城 弱虫パダル	3:24:39
3	金子 広美	三重 伊メ信濃	3:28:40
4	上野みなみ	鹿児島 Cielbleu	3:32:04
5	中原 恭恵	広島	3:32:04
6	榎木 祥子	東京 Aventura	3:32:38





TT 女子エリート優勝の與那嶺

TT 男子エリート優勝の西園

TT 男子 U23 優勝の新城

【競技結果】

第 21 回全日本選手権個人タイムトライアルロードレース
(2017/6/23 青森・階上)

男子エリート (39.0km)

- 1 西園 良太 鹿児島 BS アンカー 49:39.76
- 2 佐野 淳哉 静岡 マトリックス 49:55.04
- 3 小野寺 玲 栃木 ブリッツェン 49:56.41
- 4 岡 篤志 茨城 ブリッツェン 50:01.61
- 5 小林 海 東京 Nippo 50:42.01
- 6 渡邊翔太郎 岐阜 愛三工業 50:59.69

男子 U23 (13.0km)

- 1 新城 雄大 沖縄 EQADS 16:42.46
- 2 石原 悠希 栃木 順天堂大 16:42.86
- 3 石上 優大 神奈川 AVC AIXOIS 16:46.37
- 4 小山 貴大 群馬 シェルシング 16:51.67
- 5 渡邊 慶太 埼玉 明治大学 16:55.53
- 6 新城 銀二 沖縄 プラセーン 16:57.96

男子ジュニア (13.0km)

- 1 松田 祥位 岐阜 岐阜一高 16:39.24
- 2 佐藤 健 熊本 九州学院 17:02.12
- 3 山本 哲央 山梨 韮崎高校 17:22.80
- 4 福田 圭晃 神奈川 横浜高校 17:35.29
- 5 嶋崎 優仁 静岡 伊豆総高 17:43.59
- 6 小野寺 慶 栃木 プラブリッツェン 17:46.81

男子 U17+U15 (13.0km)

- 1 津田 悠義 愛知 EQADS 18:06.41
- 2 四宮 寛人 京都 北桑田高 18:28.84
- 3 檜村 奏太 東京 ヲノ和 18:31.97
- 4 高橋 舜 宮城 東北高校 18:41.68
- 5 川崎 三織 埼玉 栄北高校 18:46.10
- 6 氏原真之介 埼玉 浦和北 18:57.41

女子エリート (26.0km)

- 1 與那嶺恵理 茨城 FDJ 36:05.62
- 2 梶原 悠未 埼玉 筑波大学 37:36.53
- 3 唐見実世子 茨城 弱虫パダル 37:58.30
- 4 上野みなみ 鹿児島 Cielbleu 38:15.88
- 5 古山 稀絵 東京 日本体大 38:43.04
- 6 工藤めぐみ 青森 AC 八戸院 40:36.54

女子ジュニア+ U17 (13.0km)

- 1 下山美寿々 大阪 大教大附 18:57.71
- 2 石上 夢乃 神奈川 横浜創学 19:33.84
- 3 菅原ななこ 宮城 東北高校 20:32.51

女子 U17 (13.0km)

- 1 菅原ななこ 宮城 東北高校 20:32.51



TT 女子ジュニア優勝の下山 TT 男子 U17+U15 優勝の津田



藤田征樹



奥村直彦



小川睦彦



野口佳子

【競技結果】

2017日本パラサイクリング選手権ロード大会
(2017/6/23 青森・階上)

パラ男子 C1-5 (13.0km)

- 1 藤田 征樹 日立建機 MC3 17:49.90
- 2 川本 翔大 大和産業 MC2 18:23.37
- 3 相園健太郎 全日空 MC2 19:29.38

パラ男子 H1-5 (13.0km)

- 1 奥村 直彦 風輪堂 MH4 20:39.98
- 2 島田 一彦 MH4 22:12.76

パラ男子 T1-2 (13.0km)

- 1 小川 睦彦 杉並区 MT2 24:56.80

パラ女子 C1-5 (13.0km)

- 1 野口 佳子 ウェルパーク WC3 20:19.03
- 2 藤井 美穂 楽天ソゾ WC2 23:46.89

男子エリート・ロードレースランキング

2017/6/30

順位	名前	所属	合計	T北海道	T北海道	T北海道	T北海道	全日本	世界選	Japan	ツール	アジ選	アジ選	TOJ	TOJ	熊野	熊野	熊野	全日本	全日本	
				総合	2 St	3 St	4 St	実業団	ロ-ド	Cup	沖繩	TT	ロ-ド	総合	8 St	総合	1 St	3 St	TT	ロ-ド	
				2016	2016	2016	2016	2016	2016	2016	2016	2017	2017	2017	2017	2017	2017	2017	2017	2017	2017
				9/1-3	9/1	9/2	9/3	10/9	10/16	10/23	11/13	2/27	3/2	5/21-28	5/28	6/1-4	6/2	6/4	6/23	6/25	
1	別府 史之	JPCA	183p							3				125						55	
2	新城 幸也	JPCA	130p						20	40				70							
3	増田 成幸	栃木	94p	40	8	1				5	40										
4	西園 良太	鹿児島	81p				1			5	5	10		10		20			30		
5	畑中 勇介	東京	78p							5	3									70	
6	岡本 隼	和歌山	70p											70							
7	小野寺 玲	栃木	60p									25	15						20		
8	木村 圭佑	滋賀	40p																	40	
9	雨澤 毅明	栃木	35p							5	10			5						15	
10	鈴木 龍	宮城	33p											3						30	
11	中根 英登	愛知	29p	20		1				5				3							
12	早川 朋宏	愛知	26p											3		3				20	
13	西村 大輝	東京	25p																	25	
13	佐野 淳哉	静岡	25p																25		
13	内間 康平	沖縄	25p									25									
16	湊 諒	青森	23p								15			3						5	
17	入部 正太郎	奈良	19p								3			3					3	3	
18	岡 篤志	茨城	15p													7			15		
19	平井 栄一	神奈川	10p																	10	
19	小林 海	東京	10p																10		
19	鈴木 謙	栃木	10p	3	1					5									1		
19	吉岡 直哉	京都	10p	10																	
23	阿部 尚之	栃木	8p												5		3				
24	渡邊 翔太郎	岐阜	5p																5		
24	山本 元喜	奈良	5p													5					
24	初山 翔	神奈川	5p							5											
27	土井 雪広	山形	4p											3				1			
28	石上 優大	神奈川	3p							3											
28	吉田 隼人	奈良	3p								3										
28	窪木 一茂	和歌山	3p											3							
28	山本 大喜	奈良	3p											3							
28	大久保 陣	鹿児島	3p												3						
33	加藤 達也	福岡	1p																1		
33	石橋 学	青森	1p																1		

第34回 全日本 BMX 選手権大会

リオ五輪出場の長迫が2年ぶりにチャンピオン奪還!



男子エリート、中央の993が優勝の長迫

女子、119がエリート優勝の瀬古、4がジュニア優勝の畠山 男子エリート優勝の長迫



男子ジュニア、先頭が優勝の中井

【競技結果】

第34回 全日本BMX選手権大会
(2017/7/1-2 静岡・日本CSC)

男子エリート

- 1 長迫 吉拓 岡山 MX International
- 2 松下 巽 神奈川 早稲田大学大学院
- 3 山口 大地 新潟 早稲田大学

男子ジュニア

- 1 中井 飛馬 新潟 Daylight Cycles
- 2 島田 遼 広島 Gan Trigger
- 3 池上 泰地 大阪 Kuwahara Bike

男子マスターズ

- 1 佐伯 進 静岡
- 2 渡辺 濃 神奈川
- 3 塚原 睦人 愛知

女子エリート

- 1 瀬古 遥加 三重 IRC TIRE
- 2 飯端 美樹 大阪 SE Racing
- 3 朝比奈綾香 大阪

女子ジュニア

- 1 畠山 紗英 神奈川 白鷗女子高等学校
- 2 永禮 美瑠 愛知 Kuwahara Bike
- 3 丹野 夏波 神奈川 白鷗女子高等学校



ケイリン決勝のフィニッシュ直前

第64回 全日本プロ選手権 自転車競技大会 トラック・レース

【競技結果】

第64回全日本プロ選手権自転車競技大会
トラックレース(2017/5/29 和歌山・和歌山)

スプリント

- 1 渡邊 一成 福島 北日本地区
- 2 河端 朋之 岡山 中国地区
- 3 金子 貴志 愛知 中部地区

1kmタイムトライアル

- 1 早坂 秀悟 宮城 北日本地区 1:03.399
- 2 大槻 寛徳 宮城 北日本地区 1:04.266
- 3 竹内 雄作 岐阜 中部地区 1:04.468

ケイリン

- 1 深谷 知広 愛知 中部地区
- 2 新田 祐大 福島 北日本地区
- 3 稲川 翔 大阪 近畿地区

4km個人パシュート

- 1 渡邊 正光 福島 北日本地区 4:42.290
- 2 成松 春樹 佐賀 九州地区 4:44.002
- 3 須賀 和彦 茨城 関東地区 4:46.254

リレイションレース

- 1 小林 潤二 群馬 関東地区
- 2 根本 哲吏 秋田 北日本地区
- 3 西村 光太 三重 中部地区

チームスプリント

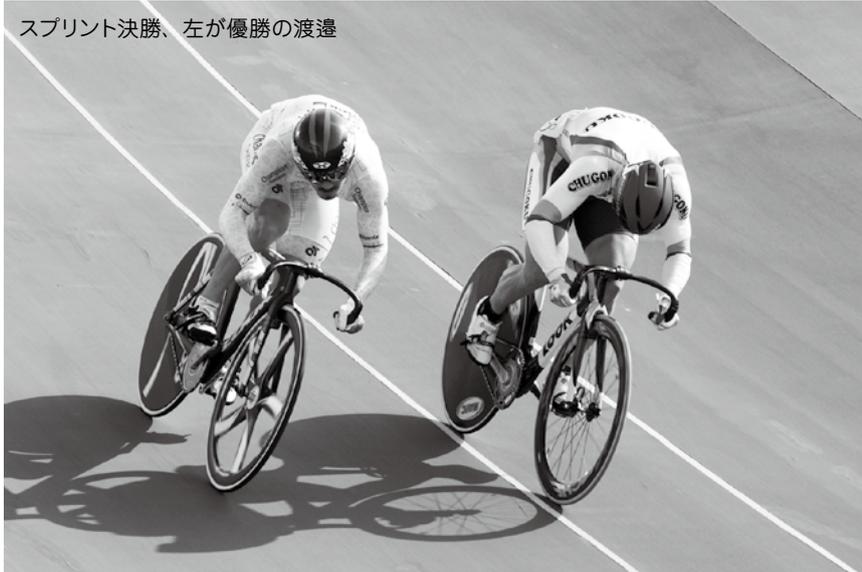
- 1 関東地区 小田倉・長島・金子 1:14.150
- 2 北日本地区 早坂・菅田・阿部 1:14.605
- 3 中国地区 戸田・黒田・取島 1:15.276

4kmチームパシュート

- 1 南関東地区 小原・嶋津・堀内・佐々木 4:23.204
- 2 北日本地区 坂本・守澤・坂本・新山 4:25.471
- 3 関東地区 河野・杉森・山岸・吉田 4:27.535

わかちゃんグランプリ(女子)

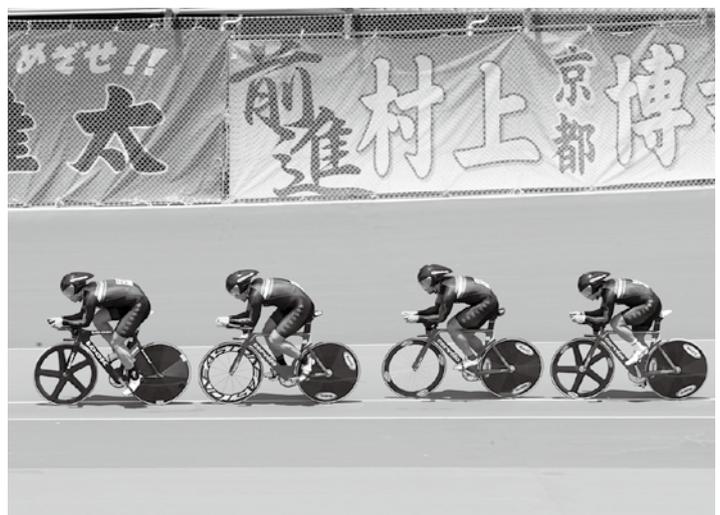
- 1 大久保花梨 福岡
- 2 内村 舞織 福岡
- 3 梅川 風子 東京



スプリント決勝、左が優勝の渡邊



チームスプリント優勝の関東チーム



チームパシュート優勝の南関東チーム

平成 29・30 年度 公益財団法人 日本自転車競技連盟 新役員の紹介



会 長 橋本 聖子



副会長 佐久間重光



副会長 林 辰夫



専務理事 飯坂 紳治



常務理事 小野口裕朗



常務理事 金古 将人



常務理事 高橋 博



常務理事 中梶 秀則



常務理事 渡辺俊太郎



理 事 飯田 太文



理 事 奥田 悦司



理 事 黒川 剛



理 事 坂井田米治



理 事 三宮恵利子



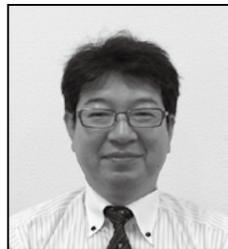
理 事 高橋 真



理 事 中田 将次



理 事 中野 浩一



理 事 早坂 和広



理 事 松倉 信裕



理 事 松村 正之



監 事 斎藤 邦夫



監 事 林 興一

平成29～32年度 公益財団法人 日本自転車競技連盟 評議員名簿

堀江洋一郎(北海道)・福岡 直(青森)・佐々木正人(岩手)・星 進一(宮城)・伊藤 光雄(秋田)
 泉 博文(山形)・鹿又 未可(福島)・戸邊 裕将(茨城)・小坂 敏之(栃木)・清水 一孝(群馬)
 野口 勇(埼玉)・廣瀬 来(千葉)・岡和田真治(東京)・山上 義明(神奈川)・小林 一也(山梨)
 権瓶 修也(新潟)・浅香 英二(長野)・宮越 大(富山)・日高 明広(石川)・西山 知宏(福井)
 松村 友子(静岡)・石原 正和(愛知)・小西 誠也(三重)・山崎 好弘(岐阜)・中井 将喜(滋賀)
 千葉 嘉男(京都)・今井喜代治(大阪)・藤本 清孝(兵庫)・徳地 末広(奈良)・類家 信雄(和歌山)
 岡田 行雄(鳥取)・吉野 勝雄(島根)・近藤 忠彦(岡山)・川手 一則(広島)・棟久 明博(山口)
 高畑 秀規(香川)・高田 健一(徳島)・梶應 弘樹(愛媛)・矢野 賢児(高知)・山下 秀房(福岡)
 原 司(佐賀)・阪本 正和(長崎)・小西浩一郎(熊本)・小石 孝生(大分)・下村 守(宮崎)
 木下 唯一(鹿児島)・知念 正和(沖縄)・西山 吉信(実業団)・山崎 敏正(実業団)・清水 弘裕(実業団)
 荒井 純一(学連)・武田 彰(学連)・近嵐 力(学連)・平葎 正樹(高体連)・早川 誠司(高体連)
 寺崎 豪紀(高体連)・藤田 剣次(JPCA)・一丸 安貴(JPCA)・吉田 晴行(JPCA)・井上 徹(学経)
 佐藤 裕幸(学経)・高橋 友彦(学経)・権丈 泰巳(学経) ※平成29年6月末日現在の名簿です。(敬称略)

維持会員 ご賛同方お願い

平素から本連盟の事業運営に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本連盟は平成7年5月にプロ、アマ統合により、わが国における自転車競技界を代表する団体として発足して以来、自転車競技の普及・振興に係る諸事業を展開してまいりました。今後も自転車競技の一層の発展を期し、国内大会の充実や国際大会の開催・派遣等活発な事業展開を図る所存です。

しかしながら、これら事業活動には多額の経費を要するため、経費節約に努める一方、自主財源の増額を図る一環として従来から維持会員制度に基づき会員各位のご支援を仰いでおります。

自転車競技は第1回オリンピック(1896年アテネ)大会からの正式種目でもあり、来る2020年東京オリンピック・パラリンピック大会の開催成功とメダル獲得を目標に関係者一同が一丸となって邁進して参ります。

つきましては、出費ご多端の折、誠に恐縮とは存じますが、何卒かかる実情をご理解いただき、自転車競技のより一層の健全な強化普及・振興のためご支援を賜りますよう切にお願い申し上げます。

1. 維持会費

個人会員：年額 10,000 円を一口とし、一口以上。 団体会員：年額 50,000 円を一口とし、一口以上。

2. ご送金について

会員申込用紙にご記入いただき、下記口座にお振込み下さいますようお願い申し上げます。

りそな銀行 東京公務部 普通預金口座 6104013 (公財)日本自転車競技連盟

3. お問い合わせ

公益財団法人 日本自転車競技連盟 事務局 総務部 TEL: 03-6277-2690 somu@jcf.or.jp

平成28年度 公益財団法人日本自転車競技連盟 維持会員

[団体会員]

有限会社サイクル小野サポロ/株式会社 シマノ/ダイワボウプログレス株式会社
 株式会社日刊プロスポーツ新聞社/日本写真判定株式会社/日本道路株式会社
 日本プロフェッショナルサイクリスト協会/パナソニックサイクルテック株式会社/株式会社深谷産業
 株式会社NIPPO/一般財団法人日本サイクルスポーツセンター/有限会社メダリストプランニング

[個人会員]

穴田 勝彦/板鼻 昭/岩井正二郎/江國 健夫/江原 敏郎/大島 研一/岡本 雄作/奥田 悦司
 斧 隆夫/鹿又 未可/亀田 博文/川手 一則/坂井田米治/佐久間重光/佐久間信司郎/佐々木正人
 清水 一孝/清水 弘裕/鈴木 忠/鈴木 康之/高橋 博/中田 将次/中野 浩一/中村 雅章
 平野 禎/藤原 盛一/松倉 信裕/松村 友子/松村 正之/実 和也/棟久 明博/村田 隆宣
 矢島 幸一/安田 光義/山崎 航/山崎 好弘/渡邊 淳 (敬称略)

競技大会結果

大会名、チーム名等については略して記載

2017 UCI BMX Supercross World Cup 第1-2戦オランダ大会 (2017/5/6-7 オランダ・ハッペンタール)

第1戦

男子エリート+ジュニア

1	ANDRE Sylvain FAR	36.301
2	van der BURG Dave NED	36.341
3	van GENDT Twan NED	36.766
20	長迫 吉拓 岡山 MX イターナショナル	38.001
46	吉村樹希敢 大阪	42.464
110	山口 大地 新潟 早稲田大学	40.216
143	吉井 康平 神奈川 MX イターナショナル	DNF
153	池上 泰地 大阪 クハラバク	44.262
163	長谷川湧斗 茨城 流通経済大	49.404

女子エリート+ジュニア

1	SMULDERS Laura NED	38.050
2	BONDARENKO Yaroslava RUS	39.132
3	BAAUW Judy NED	39.464
12	島山 紗英 神奈川 白鷗女子高	42.052
38	永禮 美瑠 三重 西陵高校	46.634

第2戦

男子エリート+ジュニア

1	DAUDET Joris FAR	35.762
2	NYHAUG Tory CAN	36.388
3	FIELDS Connor USA	36.616
35	長迫 吉拓 岡山 MX イターナショナル	38.047
36	吉村樹希敢 大阪	38.067
72	山口 大地 新潟 早稲田大学	38.548
131	池上 泰地 大阪 クハラバク	40.048
137	長谷川湧斗 茨城 流通経済大	46.483
148	吉井 康平 神奈川 MX イターナショナル	DNF

女子エリート+ジュニア

1	SMULDERS Laura NED	38.160
2	P AJON Mariana COL	38.433
3	REYNOLDS Lauren AUS	38.960
13	島山 紗英 神奈川 白鷗女子高	40.756
37	永禮 美瑠 三重 西陵高校	46.461

第23回アジアMTB選手権

第9回アジアジュニアMTB選手権大会 (2017/5/12-14 中国・シインフョ)

XCチームリレー (22.25km)

1	中国	1:22:56
2	日本 平林・川口・村上・北林・中原	1:23:48
3	イラン	1:26:46

DHI男子エリート (1.3km)

1	九島 勇気 神奈川 玄武	2:09.723
2	CHIANG SHENG SHAN TPE	2:10.328
3	清水 一輝 愛知 PATROL	2:12.136
4	井本はじめ 兵庫 SRAM	2:12.270
6	永田 隼也 神奈川 ミラジジャパン	2:15.353

DHI女子エリート (1.3km)

1	DEEKABALLES VIPAVEE THA	2'32.004
2	PURWANINGSIH NINING INA	2:43.499
3	PRASTIKA TIARA ANDINI INA	2:46.496
7	中川 弘佳 大阪 Liv	3:05.956

XCO男子エリート (27.28km)

1	LYU XIANJING CHN	1:29:30
2	MA HAO CHN	1:31:50
3	CHEN MINGRUN CHN	1:32:06
6	平野 星矢 長野 BS アンカー	1:36:03
9	沢田 時 滋賀 BS アンカー	1:40:31
13	中原 義貴 大阪 DECOJA	1:42:13
24	平林 安里 長野 スパシャライズド -2LAPS	
	竹内 遼 長野 drawer	DNF

XCO女子エリート (22.85km)

1	YAO BIANWA CHN	1:33:10
2	WEI QIANQIAN CHN	1:33:25
3	WANG XUELIAN CHN	1:33:50
8	小林可奈子 長野 MTB 安曇野	1:50:37
11	武田 和佳 埼玉 Liv	-1lap

XCO男子ジュニア (18.42km)

1	KIM MINO KOR	1:06:02
2	XU DUIBING CHN	1:06:49
3	KIM GEONJIN KOR	1:07:21
5	村上功太郎 愛媛 松山工業高	1:09:12
6	小林 勇輝 長野 塩尻志学館	1:09:40
17	北林 力 長野 白馬高校	1:17:36

XCO女子ジュニア (13.99km)

1	川口うらら 兵庫 龍野高校	1:01:06
2	ZHE QINGHUA CHN	1:03:10
3	WU TINGTING CHN	1:04:03
7	山田 夕貴 北海道 滝川西高校	1:12:57
8	吉田 雪那 北海道 札幌リハビリテーション大	1:17:13

2017 UCI BMX Supercross World Cup 第3-4戦ベルギー大会 (2017/5/13-14 ベルギー・ゾルダール)

第3戦

男子エリート+ジュニア

1	FIELDS Connor USA	31.727
2	van der BURG Dave NED	31.951
3	TREIMANIS Edzus LAT	32.419
21	長迫 吉拓 岡山 MX イターナショナル	33.208
76	吉井 康平 神奈川 MX イターナショナル	34.704
77	吉村樹希敢 大阪	34.766
135	山口 大地 新潟 早稲田大学	37.094
153	池上 泰地 大阪 クハラバク	35.402
160	長谷川湧斗 茨城 流通経済大	35.812

女子エリート+ジュニア

1	PAJON Mariana COL	35.828
2	CHRISTENSEN Simone Tetsche DEN	36.080
3	HERNANDEZ Stefany VEN	37.005
21	島山 紗英 神奈川 白鷗女子高	39.350
43	永禮 美瑠 三重 西陵高校	41.157

第4戦

男子エリート+ジュニア

1	van GENDTT Wan NED	32.033
2	ANDRE Sylvain FRA	32.186
3	MAHIEU Romain FRA	35.310
43	長迫 吉拓 岡山 MX イターナショナル	33.954
78	池上 泰地 大阪 クハラバク	35.587
119	吉村樹希敢 大阪	1:03.826
137	山口 大地 新潟 早稲田大学	42.489
152	吉井 康平 神奈川 MX イターナショナル	36.257
170	長谷川湧斗 茨城 流通経済大	37.086

女子エリート+ジュニア

1	SMULDERS Laura NED	35.718
---	--------------------	--------

2	CHRISTENSEN Simone Tetsche DEN	36.474
3	HERNANDEZ Stefany VEN	38.710
22	島山 紗英 神奈川 白鷗女子高	40.705
40	永禮 美瑠 三重 西陵高校	41.692

MTB CdJ 勢和多気国際 XCO UCI-C3 (2017/5/21 三重・清和の森 MTB コース)

XCO男子エリート (28.8km)

1	前田 公平 東京 弱虫 P.	1:19:13.68
2	恩田 祐一 新潟 MIYATA	1:19:22.16
3	平野 星矢 長野 BS アンカー	1:20:10.01

XCO男子ジュニア (19.20km)

1	北林 力 長野 ProRide	55:53.85
2	神永 真一 大阪 ProRide	57:12.54
3	小林 勇輝 長野 GRM	57:30.94

XCO男子ユース (14.40km)

1	山口 創平 滋賀 ProRide	42:32.90
2	中島 渉 埼玉 Limited846	43:21.58
3	上野悠佑太 東京 GRM	45:02.78

XCO男子マスタ- (19.20km)

1	酒居 良和 広島 マツダパト	1:01:54.23
2	塩見 学 東京 B・B・Q	1:02:33.21
3	田村 竜樹 愛知 サッカーズ	1:03:32.24

XCO女子エリート (19.20km)

1	小林可奈子 長野 安曇野	1:08:58.41
2	今井 美穂 群馬 SCOTT	1:10:42.50
3	佐藤 寿美 神奈川 drawer	1:12:46.27

XCO女子ジュニア (14.4km)

1	川口うらら 大阪 Sonic-R.	50:02.85
2	山田 夕貴 北海道 BG8	55:15.25

XCO女子ユース (9.6km)

1	小林あかり 長野 安曇野	35:28.56
---	--------------	----------

XCO女子マスタ- (9.6km)

1	辻 瑞穂 神奈川 PAXPRO	43:38.94
2	北島 優子 長野 パワースポーツ	52:34.18

MTB CdJ 富士見パノラマ XCO/DHI (2017/5/27-28 長野・富士見)

DHI女子エリート (1.5km)

1	富田 敬子 奈良 Acciarpone	3:12.664
2	吉川千香子 愛知 DKMC	3:18.102
3	安福 範子 愛知 ACCEL	3:22.763

DHI男子ユース (1.5km)

1	秋元 拓海 福島 PAXCYCLE	2:41.803
2	山田 淳一 愛知 重力技研	2:46.831
3	石井 日高 神奈川 MARSH	2:52.984

DHI男子マスタ- (1.5km)

1	大野 良平 岐阜 KYB	2:46.635
2	ポールギルスナン千葉 Nukeyproof	2:48.674
3	望月 克彦 静岡 MARSH	2:48.703

DHI男子エリート (1.5km)

1	清水 一輝 愛知 Patrol	2:27.350
2	加藤 将来 愛知 AKI Fact	2:28.808
3	井本はじめ 兵庫 SRAM	2:30.376

XCO男子エリート (34.4km)

1	前田 公平 東京 弱虫 P.	1:49:32.40
2	恩田 祐一 新潟 MIYATA	1:50:44.45
3	沢田 時 滋賀 BS アンカー	1:51:54.22

XCO男子ジュニア (25.8km)

1	村上功太郎 愛知 松山工高	1:28:35.43
2	小林 勇輝 長野 GRM	1:29:31.94

3 神永 真一 大阪 ProRide 1:30:05.81
XCO 男子1-ス (17.2km)

1 山口 創平 滋賀 ProRide 58:25.19
2 松本 一成 長野 SCOT 1:01:13.67
3 中島 渉 埼玉 Limit846 1:01:59.41

XCO 男子マター (21.5km)

1 竹谷 賢二 埼玉 スポライズ1 1:13:59.05
2 品川 真寛 神奈川 YOUCAN 1:15:59.63
3 斎藤 朋寛 神奈川 RIDELIFE 1:16:46.05

XCO 女子1-ト (21.5km)

1 今井 美穂 群馬 SCOTT 1:26:57.25
2 小林可奈子 長野 安曇野 1:27:35.85
3 武田 和佳 埼玉 Liv 1:30:32.41

XCO 女子ジュニア (12.9km)

1 川口うらら 大阪 Sonic-R. 48:11.29
2 松本 璃奈 長野 GRM 54:14.93
2 山田 夕貴 北海道 BG8 54:38.05

XCO 女子1-ス (8.6km)

1 小林あかり 長野 安曇野 34:58.39

XCO 女子マター (12.9km)

1 中村 園子 長野 安曇野 1:03:45.75
2 辻 瑞穂 神奈川 PAX 1:07:44.72
3 北島 優子 長野 パワースポーツ1 1:18:16.95

第19回ツール・ド・熊野

(2017/6/1-4 和歌山/三重・熊野)



ツール・ド・熊野実行委員会

個人総合成績

1 TORIBIO ALCOLEA Jose Vicente MTR 7:41:59
2 PUJOL MUNOZ Oscar UKO 7:42:42
3 GARCIA Marcos KIN 7:42:45
4 西菌 良太 BGT 7:42:47
5 POURSEVEDIGOLAKHOUR Mirsasad TST 7:42:52
6 DAVIDENOK Ilya TST 7:42:55

ポイント賞

1 阿部 嵩之 BLZ 44p

山岳賞

1 POURHASHEMI Hamid TST 22p

チーム総合成績

1 キンサイクリングチーム 23:09:10
2 タブリース シャルダリチーム 23:12:39
3 マトリックス パワータク 23:17:28

700-kg 個人 TT (0.7km)

1 SAJNOK Szymon ATG 0'50:95
2 GROVES Kaden STG 0'50:97
3 ABERASTURI IZAGA Jon UKO 0'51:14
4 中村龍太郎 IGN 0'51:31
5 阿部 嵩之 BLZ 0'51:47
6 大久保 陣 BGT 0'51:57

第1ステージ 赤木川清流 (114.1km)

1 入部正太郎 SMN 2:33:30
2 阿部 嵩之 BLZ 2:33:30

3 TORIBIO ALCOLEA Jose Vicente MTR 2:33:30
4 大久保 陣 BGT 2:33:30
5 PUJOL MUNOZ Oscar UKO 2:33:30
6 PARK Sanghong LXC 2:33:30

第2ステージ 熊野山岳 (109.3km)

1 LEBAS Thomas KIN 2:39:46
2 TORIBIO ALCOLEA MTR 2:39:46
3 GARCIA Marcos KIN 2:40:24
4 PUJOL MUNOZ Oscar UKO 2:40:24
5 西菌 良太 BGT 2:40:24
6 早川 朋宏 AIS 2:40:24

第3ステージ 太地半島 (100.0km)

1 MONIER Damien BGT 2:27:15
2 ABERASTURI IZAGA Jon UKO 2:27:53
3 土井 雪広 MTR 2:27:53
4 入部正太郎 SMN 2:27:53
5 石橋 学 BGT 2:27:53
6 GARCIA Ricardo KIN 2:27:53

第56回全日本学生選手権 チームロードタイムトライアル (2017/6/3 埼玉・加須 / 羽生)

チームロードタイムトライアル

1 中央大学 原井・高橋・今村・直井 1:17:14.20
2 京都産大 中井・松下・曾我部・吉岡 1:18:42.91
3 鹿屋体大 山本・松本・阿部・徳田 1:19:09.39
4 朝日大学 佐々木・安達・高原・永田 1:19:12.76
5 日本大学 草場・沢田・小嶋・貝原 1:20:07.48
6 順天堂大 嶋崎・原・石原・岡野 1:21:20.48

全日本学生選手権

第29回全日本学生個人ロード TT (2017/6/4 埼玉・加須 / 羽生)

男子 (31.2km)

1 山本 大喜 奈良 鹿屋体大 41:09.629
2 石原 悠希 栃木 順天堂大 42:11.995
3 今村 駿介 福岡 中央大学 42:19.242
4 松本 憲斗 熊本 鹿屋体大 42:41.421
5 草場 啓吾 京都 日本大学 43:15.748
6 中川 拳 北海道 早稲田大 43:17.786

女子 (25.2km)

1 梶原 悠未 埼玉 筑波大学 37:53.340
2 古山 稀絵 東京 日本体大 39:56.383
3 橋本 優弥 岐阜 鹿屋体大 41:00.396
4 西森彩良々 高知 鹿屋体大 42:10.596
5 中村 愛花 福井 日本体大 44:00.584
6 阪本ほのか 奈良 朝日大学 44:03.879

第33回全日本学生選手権個人ロードレース大会 (2017/6/10-11 岩手・紫波)

男子 (141.0km)

1 武山 晃輔 日本大学 3:29.36
2 中井 唯晶 京都産業大学 3:29.41
3 岡本 隼 日本大学 3:30.04
4 草場 啓吾 日本大学 3:30.05
5 沢田桂太郎 日本大学 3:30.05
6 徳田 匠 鹿屋体育大学 3:30.05

女子 (65.8km)

1 谷 伊央里 日本体育大学 1:50.39
2 西 加南子 LUMINARIA 1:50.40
3 菅原 朱音 八戸学院大学 1:50.52
4 福田 咲絵 慶應義塾大学 1:51.05
5 古山 稀絵 日本体育大学 1:51.49
6 櫻木 祥子 AVENTURA 1:52.35

CdJ MTB ISHIKAWA/ 白山一里野温泉 XCO (2017/6/10-11 石川・白山)

XCO 男子1-ト (27.6km)

1 宮津 旭 埼玉 PAX 1:17:25.02
2 沢田 時 滋賀 BSアスカ 1:18:04.12
3 恩田 祐一 新潟 MIYATA 1:18:18.85

XCO 男子ジュニア (19.3km)

1 北林 力 長野 ProRide 58:06.03
2 野村 拓未 長野 安曇野 59:54.01
3 神永 真一 大阪 ProRide 1:00:11.99

XCO 男子1-ス (11.0km)

1 山口 創平 滋賀 ProRide 35:29.39
2 松本 一成 長野 SCOTT 36:26.44
3 中島 渉 埼玉 Lmit846 37:00.29

XCO 男子マター (15.15km)

1 叶 英樹 福島 SaturdayE 53:03.26
2 澤田 泰征 東京 VOLCA 53:53.53
3 紫芝 智志 愛知 SNG 54:01.78

XCO 女子1-ト (19.3km)

1 今井 美穂 群馬 SCOTT 1:13:21.57
2 小林可奈子 長野 安曇野 1:13:30.43
3 橋口 陽子 東京 轍屋 1:17:19.54

XCO 女子ジュニア (15.15km)

1 川口うらら 大阪 Sonic-R. 54:45.08
2 山田 夕貴 北海道 BG8 1:01:26.15
2 松本 璃奈 長野 GRM 1:19:43.68

XCO 女子1-ス (6.85km)

1 小林あかり 長野 安曇野 27:19.97

XCO 女子マター (11.0km)

1 中村 園子 長野 安曇野 52:59.51
2 北島 優子 長野 パワースポーツ1 1:02:09.97

XCTT 男子1-ト (2.7km)

1 岡本 紘幸 愛知 インパル 6:41.13

XCTT 男子ジュニア (2.7km)

1 木谷 響 静岡 WoodCany. 8:16.78

XCTT 男子1-ス (2.7km)

1 菅原 清太 愛知 Limited846 7:32.73

XCTT 男子マター (2.7km)

1 牧野 元 東京 Team ARI 7:41.32

XCTT 女子1-ト (2.7km)

1 今井 美穂 群馬 SCOTT 8:44.48

XCTT 女子ジュニア (2.7km)

1 川口うらら 兵庫 sonic-r. 8:01.58

加スカトリ・サーキットレース&リネーター in 前橋 (2017/6/17-18 群馬・前橋)

加スカトリ・リネーター 男子1-ト

1 澤木 紀雄 東京 acu-power Racing
2 霜山 誠一 福島 PAXPROJECT
3 小笠原崇裕 東京

加スカトリ・リネーター 男子マター

1 岡部 智仁 神奈川 Goog Morning!
2 塩見 学 東京 B・B・Q
3 多田 尚史 東京 acu-power Racing

加スカトリ・ショートサーキット 男子1-ト

1 佐藤 誠示 埼玉 SAGE'S 39:39
2 小笠原崇裕 東京 36:49
3 澤木 紀雄 東京 acu-power R. 37:04

加スカトリ・ショートサーキット 女子1-ト

1 川崎 路子 静岡 PAXPROJE. 19:09

- 2 早瀬 久美 神奈川 ろう自転車協会 19:09
 加スカントリー・ショートキット 男子マスターズ
- 1 多田 尚史 東京 acu-power R. 27:02
 2 森下 奏 神奈川 Rise-Ride 27:04
 3 澤田 泰征 東京 VOLCA 27:09

MTB 妙高杉原 STAGE XCO CJ2
 (2017/6/24-25 新潟・妙高)

- XCO 男子リト (24.6km)
- 1 平林 安里 長野 スペシャルズ 1:02:31.31
 2 恩田 祐一 新潟 MIYATA 1:03:41.72
 3 沢田 時 滋賀 BS アンカー 1:07:03.87

XCO 男子ジュニア (20.5km)

- 1 北林 力 長野 ProRide 55:37.15
 2 小林 勇輝 長野 GRM 56:54.73
 3 野村 拓未 長野 安曇野 58:10.16

XCO 男子U-19 (12.3km)

- 1 山口 創平 滋賀 ProRide 31:53.08
 2 中島 渉 埼玉 Limit846 32:56.55
 3 北林 仁 長野 ProRide 35:46.72

XCO 男子マスター (20.5km)

- 1 竹田 佳行 埼玉 kei's 1:00:36.79
 2 鈴木 敦夫 長野 エキノックス 1:00:40.83
 3 村田 隆 長野 快レーシング 1:02:06.17

XCO 女子リト (16.4km)

- 1 寺田 有希 愛知 自転車村 56:42.54
 2 真川 好美 愛知 Nipopo 1:06:29.34
 3 鈴木美香子 東京 Cyclery KIRIN-1Lap

2017 MTB XC マリノ世界選手権大会
 (2017/6/24-25 ドイツ・ジンゲン)

男子

- 1 LAKATA Alban AUT 3:17:24
 2 FERREIRA Tiago POR +00:01
 3 GEISMAYR Daniel AUT +00:01
 115 宮津 旭 埼玉 +32:30
 126 門田 基志 愛媛 +37:50
 147 池田 祐樹 東京 +47:55
 153 西山 靖晃 愛媛 +56:19

NEWS

2017年6月9日にローザンヌ(スイス)で開催された国際オリンピック委員会(IOC)理事会で、2020年東京オリンピック正式種目を発表し、自転車競技は、BMX フリースタイルとトラックレースのマディソンが追加された。自転車競技の全選手数は、リオオリンピック時と同数であるが、各種目の人数は下記の通りとなった。

Discipline (medals)	Events	Athlete Quota Men	Athlete Quota Women
Road (4)	Road Race (Men & Women) Individual Time Trial (Men & Women)	130	67
Track (12)	Team Sprint (Men & Women) Sprint (Men & Women) Keirin (Men & Women) Team Pursuit (Men & Women) Omnium (Men & Women) Madison (Men & Women)	99	90
Mountain Bike (2)	Cross-country Olympic (Men & Women)	38	38
BMX Racing (2)	Men & Women	24	24
BMX Freestyle (2)	Park (Men & Women)	9	9

新しい翼で、世界の空へ。

member of 



JAPAN AIRLINES

連盟の動き (5月下旬～7月上旬)

5月19日 平成29年度第1回総務委員会	於：東京・自転車総合ビル 602会議室
22日 平成29年度第1回常務理事会	於：東京・自転車総合ビル 601会議室
28日トラック#1中距離強化合宿	於：静岡・伊豆ベロドローム (～6/2日)
30日 平成29年度第1回理事会	於：東京・自転車総合ビル 601会議室
6月12日トラック#2中距離強化合宿	於：静岡・伊豆ベロドローム (～16日)
19日 平成29年度第1回定時評議員会	於：東京・自転車総合ビル 601会議室
26日 平成29年度第2回理事会	於：東京・自転車総合ビル 601会議室
28日 ロード測定合宿	於：東京・国立スポーツ科学センター JISS (～29日)
7月6日 ロード測定合宿	於：東京・国立スポーツ科学センター JISS (～7日)
7日 平成29年度第1回競技運営委員会	於：静岡・いずみ荘
10日トラック短距離強化合宿	於：静岡・伊豆ベロドローム (～13日)
14日 平成29年度第2回広報部会	於：東京・白金台いきいきプラザ会議室

今後の大会予定

期日	大会名	種目	場所
7月27日～29日	全国高等学校総合体育大会自転車競技	TR	福島県・いわき市平競輪場
7月30日	全国高等学校総合体育大会自転車競技	RR	福島県・石川町/浅川町
8月5日～6日	JOCジュニアオリンピックカップ	MTB	長野県・白馬村
8月6日	全日本選手権自転車競技大会-ロードレース・ジュニア	RR	島根県・益田市
8月19日～20日	JOCジュニアオリンピックカップ	TR	静岡県・伊豆ベロドローム
8月19日～20日	シマノ鈴鹿ロードレースクラシック	RR	三重県・鈴鹿サーキット
8月23日～27日	UCI世界選手権大会-ジュニア・トラック	TR	イタリア・モンテキアーリ
8月24日～26日	全国都道府県対抗自転車競技大会	TR/RR	福井県・福井市/大野市
8月31日～3日	UCI世界選手権大会-パラサイクリング・トラック	PARA	南アフリカ・ピーターマリッツバーグ
8月31日～2日	文部科学大臣杯第73回全日本大学対抗選手権自転車競技大会	TR	長野県・松本市美鈴湖自転車競技場
9月3日	文部科学大臣杯第73回全日本大学対抗選手権自転車競技大会	RR	長野県・大町美麻地区
9月5日～10日	UCI世界選手権大会-MTB DH/MTB XCO	MTB	オーストラリア・ケアンズ
9月8日～10日	ツール・ド・北海道	RR	北海道(道南)
9月10日	JBCF 全日本トラックチャンピオンシップ(予定)	TR	静岡県・伊豆ベロドローム
9月16日～17日	日本スポーツマスターズ2017・自転車競技	TR	兵庫県・明石公園自転車競技場
9月16日～24日	UCI世界選手権大会-ロードレース	RR	ノルウェー・ベルゲン
9月16日～17日	Coupe du Japon ウイングヒルズ大会 DHI	MTB	岐阜県・郡上市
9月22日～24日	Coupe du Japon 妙高杉ノ原STAGE DHI, XCO	MTB	新潟県・妙高市
9月23日～24日	チャンピオンズカップ	Indoor	関西 or 福山
9月23日～24日	室内自転車競技ジャパンカップ	Indoor	関西 or 福山
9月30日～1日	Coupe du Japon 白馬マウンテンバイク大会 XCO	MTB	長野県・白馬村
10月1日～5日	国民体育大会自転車競技	RR/TR	愛媛県・松山市/今治市

今こそ資源の有効利用を

創業115年の歴史

原材料再生のエキスパート

24時間対応の柔軟な受入体制

115th
since 1902

東港金属

<https://www.tokometal.co.jp/>

**第23回アジアMTB選手権
第9回アジアジュニアMTB選手権 日本代表選手団**

大会名 第23回アジアMTB選手権
第9回アジアジュニアMTB選手権大会
大会期間 2017年5月12日～14日
派遣期間 2017年5月9日～15日
開催場所 中国・Xuancheng
代表選手団

監督 鈴木 雷太 (MTB強化コーチ)
メカニック 小林 輝紀 (JCF強化支援スタッフ)
今田 大三 (JCF強化支援スタッフ)
山路 篤 (JCF強化支援スタッフ)
スタッフ 軽部 修子 (JCF強化支援スタッフ)
川原かおり (JCF強化支援スタッフ)

選手

●MTB (ダウンヒル)
男子エリート 清水 一輝 (愛知・PATROL MOUNTAIN FJC)
永田 隼也 (神奈川・ミラリジャパン)
井本はじめ (兵庫・SRAM/Santacruz)
九島 勇気 (神奈川・玄武/MONDRAKER)
女子エリート 中川 弘佳 (大阪・Liv/LOVESPO.com)
●MTB (クロスカンントリー)
男子エリート 平野 星矢 (長野・プリヂストンアンカーサイクリングチーム)
中原 義貴 (大阪・DECOJA CYCLING TEAM)
沢田 時 (滋賀・プリヂストンアンカーサイクリングチーム)
平林 安里 (長野・スペシャライズドレーシング ジャパン)
竹内 遼 (長野・drawer The RACING)
女子エリート 小林可奈子 (長野・MTBクラブ安曇野)
武田 和佳 (埼玉・Liv)
男子ジュニア 北林 力 (長野・白馬高等学校 /ProRide)
小林 勇輝 (長野・塩尻志学館高校 /TEAM GRM)
村上功太郎 (愛媛・松山工業高校)
女子ジュニア 吉田 雪那 (北海道・専門学校北海道川北リハビリテーション大学 /TEAM BG8)
山田 夕貴 (北海道・滝川西高等学校 /TEAM BG8)
川口うらら (兵庫・龍野高校 /Sonic-Racing)

**2017年UCIジュニアネイションズカップ
日本代表選手団**

大会名 2017年UCIジュニアネイションズカップ
(フランス・スイス)
大会期間 2017年5月20日～21日 (フランス)
2017年5月25日～28日 (スイス)
派遣期間 2017年5月17日～30日
開催場所 フランス・スイス
代表選手団

監督 柿木 孝之 (JCF強化コーチ・ジュニア強化育成部会員)
メカニック 中村 仁 (JCF強化支援スタッフ)
選手 松田 祥位 (岐阜・岐阜第一高校)
小野寺 慶 (栃木・真岡工業高校)
成海 大聖 (沖縄・普天間高校)
蠣崎 優仁 (静岡・伊豆総合高校)
依田 翔大 (山梨・甲府工業高校)
佐藤 健 (熊本・九州学院高校)

2017年アジアBMX選手権大会 日本代表選手団

大会名 2017年アジアBMX選手権大会
大会期間 2017年5月27日～28日
派遣期間 2017年5月25日～30日
開催場所 タイ王国・シュパンプリ
代表選手団

監督 三瓶 将廣 (連盟BMXコーチ)
コーチ 古幡 陵介 (連盟BMXコーチ)
メカニック 光武 正勝 (連盟強化支援スタッフ)
選手

男子エリート 吉井 康平 (東京・MXインターナショナル)
松下 翼 (神奈川・早稲田大学大学院)
吉村樹希敢 (大阪)
山口 大地 (新潟・早稲田大学)
男子ジュニア 中井 飛馬 (新潟・日本体育大学荏原高校)
島田 遼 (広島・近畿大学泉州高校)
佐宗 恭 (東京・日出高校)
池上 泰地 (大阪・クワハラバイクワークス)
女子ジュニア 畠山 紗英 (神奈川・白鷗女子高校)
永禮 美瑠 (愛知・名古屋市立西陵高校)
丹野 夏波 (神奈川・白鷗女子高校)

**2017年U23ネイションズカップ (チェコ)
日本代表選手団**

大会名 U23ネイションズカップ
大会期間 2017年6月1日～4日
派遣期間 2017年5月29日～6月6日
開催場所 チェコ共和国
代表選手団

監督 浅田 顕 (JCFロード競技部会員)
メカニック 市川 貴大 (JCF強化支援スタッフ)
マッサー 穴田 悠吾 (JCF強化支援スタッフ)
選手 雨澤 毅明 (栃木・宇都宮ブリッツェン)
小野寺 玲 (栃木・宇都宮ブリッツェン)
岡本 隼 (神奈川・日本大学)
石上 優大 (神奈川・EQADS)
岡 篤志 (茨城・宇都宮ブリッツェン)
渡邊 歩 (福島・EQADS)

**2017年MTBマラソン世界選手権大会
日本代表選手団**

大会名 2017年MTBマラソン世界選手権大会
大会期間 2017年6月24日～25日
派遣期間 2017年6月20日～27日
開催場所 ドイツ連邦共和国・シンゲン
代表選手団

選手 門田 基志 (愛媛)
西山 靖晃 (愛媛)
池田 祐樹 (東京)
宮津 旭 (埼玉)

2017年トラックアメリカ遠征 日本代表選手団

派遣期間 2017年6月5日～7月3日

開催場所 アメリカ・トレクルタウン

代表選手団

コーチ ブノア・ヴェトゥー（短距離ヘッドコーチ）6/19-7/3

ジェイソン・ニブレット（短距離コーチ）

メカニック 森 昭雄（強化支援スタッフ）

マッサー 中山 真臣（強化支援スタッフ）6/19-7/3

通 訳 アリス・ボナミ 6/19-7/3

選 手 渡邊 一成（JPCA・JPCU 福島）6/19-7/3

新田 祐大（JPCA・JPCU 福島）6/19-7/3

脇本 雄太（JPCA・JPCU 福井）6/7-7/3

河端 朋之（JPCA・JPCU 岡山）6/19-7/3

雨谷 一樹（JPCA・JPCU 栃木）

前田佳代乃（京都）

小林 優香（JPCA・JPCU 福岡）

太田 リゆ（JPCA・JPCU 埼玉）

**2017 ジャパントラックカップ大会（I & II）
日本代表選手団**

大会名 2017 ジャパントラックカップ大会（I & II）

大会期間（I）平成29年7月7日

（II）平成29年7月8日～9

開催場所 静岡県・伊豆ベロドローム

代表選手団

コーチ ブノア・ヴェトゥー（短距離ヘッドコーチ）

ジェイソン・ニブレット（短距離コーチ）

佐藤 一朗（中距離コーチ）

折本 裕樹（ジュニア強化育成部会長）

山本 宏恒（ジュニア強化育成部会員）

塩原 正長（ジュニア強化育成支援スタッフ）

メカニック 森 昭雄（強化支援スタッフ）

斎藤 健吾（強化支援スタッフ）

鉄沢 孝一（強化支援スタッフ）

マッサー 中山 真臣（強化支援スタッフ）

内田 達也（強化支援スタッフ）

石田 将之（強化支援スタッフ）

ドクター 内田 彰子（強化支援スタッフ）

選 手 エリート

河端 朋之（JPCA・JPCU 岡山）

雨谷 一樹（JPCA・JPCU 栃木）

渡邊 一成（JPCA・JPCU 福島）

脇本 雄太（JPCA・JPCU 福井）

新田 祐大（JPCA・JPCU 福島）

和田真久留（JPCA・JPCU 神奈川）

深谷 知広（JPCA・JPC 愛知）

早坂 秀悟（JPCA・JPCU 宮城）

太田 リゆ（JPCA・JPCU 埼玉）

前田佳代乃（京都）

小林 優香（JPCA・JPCU 福岡）

今村 駿介（福岡・中央大学）

松本 憲斗（熊本・鹿屋体育大学）

一丸 尚伍（大分・プリヂストンアンカー）

近谷 涼（富山・プリヂストンアンカー）

原田 裕成（岡山・愛三工業レーシング）

荒井 佑太（宮城・法政大学）

橋本 英也（岐阜・日本競輪学校）

小林 泰正（群馬・日本競輪学校）

鈴木 奈央（JPCA・JPCU 静岡）

橋本 優弥（岐阜・鹿屋体育大学）

中村 妃智（千葉・日本写真判定）

ジュニア

梶原 海斗（福岡・祐誠高校）

中野 慎詞（岩手・紫波総合高校）

満田 光紀（熊本・日本体育大学）

中山 駿（大分・日本大学）

松本 詩乃（東京・日本体育大学）

小泉 夢菜（埼玉・早稲田大学）

山口 伊吹（長崎・鹿町工業高校）

池上あかり（福岡・祐誠高校）

2017 台湾トラックカップ 日本代表選手団

大会名 2017 台湾トラックカップ

大会期間 2017年6月25日～27日

派遣期間 2017年6月23日～28日

開催場所 チャイニーズタイペイ・高雄市

代表選手団

コーチ 佐藤 一朗（JCF 強化コーチ）

マッサー 石田 将之（強化支援スタッフ）

選 手 今村 駿介（福岡・中央大学）

松本 憲斗（熊本・鹿屋体育大学）

鈴木 奈央（JPCA・JPCU 静岡）

橋本 優弥（岐阜・鹿屋体育大学）

2017 Tour de Feminin 日本代表選手団

大会名 2017 Tour de Feminin (UCI2.2)

大会期間 2017年7月6日～9日

派遣期間 2017年7月4日～11日

開催場所 チェコ・Krásná Lípa

代表選手団

コーチ 柿木 孝之（JCF 強化コーチ）

メカニック 市川 貴大（JCF 強化支援スタッフ）

マッサー NICOLAS COUDRAY（現地スタッフ）

選 手 梶原 悠未（埼玉・筑波大学）

金子 広美（三重・イナーメ信濃山形）

福田 咲絵（神奈川・慶應義塾大学）

樫木 祥子（東京・AVENTURA AIKOH VICTORIA RACING）

古山 稀絵（東京・日本体育大学）

吉川 美穂（和歌山・Bizkaia-Durango/Live GARDEN Bici Stelle）



第20回ツアー・オブ・ジャパン



第20回 ツアー・オブ・ジャパン(UCIアジアツアー2.1)。海外および国内の計16チーム95人が、大阪府堺市に集結した。

第1ステージ堺は個人タイムトライアルで、ダニエル・サマーヒル(ユナイテッドヘルスケア)3分15秒53で優勝。日本人では岡篤志(ブリッツェン)の8位が最高位となった。

第2ステージ、京都府南部の京田辺市と精華町が舞台の、1周16.8kmを6周半する105kmは、アップダウンとカーブなど変化に富むテクニカルなコース。

普賢寺ふれあいの駅をスタートした選手たちは、同志社大学京田辺キャンパス構内をパレード走行し、普賢寺小学校前からレースはスタートした。

1周目に日本人4人を含む5人の逃

げができたが、5周目にすべて吸収され、最終周の上りでアタックしたマルコ・カノラ(NIPPO)が、残り12kmを単独で逃げ切り優勝。

前日の堺でも3位入賞したカノラは同時に個人総合リーダーに立った。日本人最高は4位の岡篤志で、個人総合で18秒差7位につけている。山岳賞は逃げていた初山翔(アンカー)が獲得し、山岳リーダーになった。

第3ステージは、三重県いなべ市の15.2kmコースを8周する127kmのレース。パレードランのスタート地点は、三岐鉄道北勢線の終着駅である阿下喜(あげき)駅。そしてコース北側の農業公園にフィニッシュ地点があり、その1km先のKOMが最高地点。

レースは序盤から3人が逃げる展開となり、最終周の上り区間でこの逃

げが吸収される。

ここで昨年の個人総合優勝者のオスカル・ブジョル(右京)がアタックすると、リーダージャージを着るマルコ・カノラ(NIPPO)が反応する。さらには逃げていたメンバーの一人、ダミアン・モニエ(アンカー)がアタックして独走するが、ラスト5kmまでにはすべて吸収され、集団でのフィニッシュへ。

ここでチームメイトの窪木一茂のアシストで先頭に出たカノラが、テクニカルな上りスプリントを制し、ステージ2連勝でリーダージャージをキープした。

第4ステージは開催10回目となる美濃。岐阜県美濃市での1周21.3kmを6周半する139.4kmで、標高差80mほどのやや急な山岳ポイントがあるが、ほかは道幅の広い平



第6ステージで勝利を決めたプジョール



坦でスプリンター向きのコース。美濃市はうだつの上がる町並みとして有名で、ここがパレードランのスタート地点。もう一つの国指定が本美濃紙(和紙)で、和紙の里会館がフィニッシュ地点になっている。

旧今井家住宅前をスタートした84名の選手は、長良川や板取川沿いのコースを周回していく。

1周目に初山翔と孫崎大樹(日本ナショナルチーム)が抜け出す。2人の逃げは最大8分差近くまで及ぶが、その差も終盤に向けて徐々に縮まる。2回目の山岳賞を取ったあとに初山がメイン集団へ戻ると、先頭は孫崎単独となり、これも5周目後半に吸収される。

最終周はスプリントへ向けて、NIPPOやユナイテッドヘルスケアらが主導権を争う。最終直線に現れたのは54人の大集団。この中央から圧倒的なスピードで抜け出したのは、ジョン・アベラストゥリ・イサガ(右京)。昨年2位の雪辱を果たす、見事な勝利を飾った。

初山は山岳ポイントをさらに重ね、山岳リーダーをキープ。5位に入った

マルコ・カノラも、アベラストゥリに10秒縮められたが、それでも5秒差で個人総合リーダーをキープしている。ステージの日本人最高位は、吉田隼人(マトリックス)が同タイムで7位、総合では岡篤志が、30秒差8位となっている。

第5ステージは、パレードののち1周12.2kmを10周し、フィニッシュまでの1.6kmを走る123.6kmの厳しい山岳ステージ。

レースは序盤から活発に動き、2周目に上り区間で8人が抜け出し、メイン集団に最大2分の差をつける。この逃げには山岳リーダーの初山翔が入り、2回の山岳ポイントをいずれも1位通過してポイントを加算した。

レース終盤へ向けてメイン集団のペースも上がり、その一方逃げからも脱落する選手が出て、最終周には全員が吸収された。この山岳ポイント付近でオスカル・プジョールがアタックするが、ラスト4kmで吸収され22人によるスプリント勝負へ。ここでロングスパートをかけたマルコ・カノラが、僅差でネイサン・アール(右京)に競り

勝ち、本大会ステージ3勝目を挙げた。

日本人では西園良太(アンカー)が、スプリント勝負に挑みステージ4位に。総合では土井雪広(マトリックス)が46秒差8位につけている。初山はこのステージで、山岳ポイント14点を加算しトータル39点となり、東京ステージで完走さえすれば個人総合山岳賞を獲得できることとなった。

第6ステージ富士山は、静岡県小山町のふじあざみラインで行なわれた。距離11.4km、最大勾配22%、中間過ぎは平均18%が続く日本を代表する激坂。コースレコードは2015年にラヒーム・エマミ(ピシュガマン)が出した38分27秒。日本人の最高は昨年に本大会で西園良太が記録した41分45秒。

12時に道の駅すばしり横のふじあざみラインからスタートした集団は、静岡県出身の平塚吉光(右京)が先頭に立ちペースを上げる。

その後もチーム右京勢先頭のまま、昨年の覇者オスカル・プジョールが抜け出し、それを昨年2位のマルコス・ガルシア(キナン)がマークする。

中間地点前でプジョールは、ガルシアを振り切り先頭単独に。そして激坂区間に入り、2番手にはハミッド・ポルハーシェミー(タブリーズ)が、3番手にネイサン・アールが上がる。

上位はこのままフィニッシュし、プジョールは2位のポルハーシェミーに1分22秒の大差をつけ、38分50秒でステージ優勝を飾った。

第5ステージまで個人総合リーダーだったマルコ・カノラは6分39秒差21位で、プジョールが代わって個人総合リーダーに立った。昨年もこの富士山を制し個人総合優勝したプジョールは、大会2連覇に向けて第7ステージ伊豆へ臨む。第6ステージ日本人最高は



第5ステージのフィニッシュ



第7ステージの競輪学校内



西園良太の4分00秒差15位、総合でも西園が4分07秒差12位にいる。

厳しいコースで総合の入れ替わる可能性のある、最終決戦の第7ステージ伊豆。コースは5kmサーキットと、競輪学校を含む園内外の道路をつないだ1周12.2kmで、これを10周する122.0km。上りと下りしがなく総標高差は3750mに達する山岳ステージ。

レースは1周目から4人の逃げができ、最大4分差のメイン集団はリーダーのチーム右京がコントロールする。

8周目にメイン集団からマルコ・カノラとフェン・チュン・カイ（パーレーン）がアタックし、先頭の4人からは9周目にマルコス・ガルシアがアタックする。カノラは追い上げるが3番手どまりで、逃がっているクリス・ハーパー（アイソウェイ）と、その前方のガルシアには届かない。結局1周目から逃げたガルシアが、2位に1分39秒差を



第8ステージ

つけて優勝した。

日本人最高位は、1周目から逃がっていた山岳リーダーの初山翔で3分54秒差6位。総合では西園良太が4分15秒差13位となっている。個人総合リーダーのオスカル・プジョルら総合上位陣に変動はなく、プジョルが2年連続の個人総合優勝をほぼ手中に収めて、翌日の東京ステージへ向かう。

最終の第8ステージ東京。正式スタートが切られるとすぐにアタック合戦となり、大井ふ頭周回コースに入ってから総合逆転やジャンプアップ、ステージ優勝を狙うチームなどが激しいアタックを繰り返す。

中盤過ぎによろやく11人の逃げが完成し、メイン集団はチーム右京がコントロールするとその差は2分となる。

終盤へ向けてそのタイム差は劇的には縮まらず、逃げ切りの可能性が出てくる。ラスト1kmで逃げ集団からヨン・イラストルサ（パーレーン）がアタックすると、阿部嵩之（ブリッツェン）も追いつくが、イラストルサが阿部を振り切ってステージ優勝を飾った。メイン集団はタイム差なしで岡本隼（愛三工業）先頭でフィニッシュした。

最終ステージを終えての総合成績は、個人総合がオスカル・プジョル、新人賞がドメン・ノヴァク（パーレーン）、ポイント賞がマルコ・カノラ、山岳賞が初山翔、そしてチーム総合はチーム右京が優勝した。日本人では西園良太の個人総合12位が最高となった。

（大会公式ウェブより）

【競技結果】

第20回ツアー・オブ・ジャパン (2017/05/21-28 大阪～東京)

個人総合時間賞

1	PUJOL MUNOZ Oscar	UKO	19:00:52
2	EARLE Nathan	UKO	19:02:32
3	POURHASHEMI Hamid	TST	19:02:34
4	TORIBIO ALCOLEA Jose Vicenete	MTR	19:03:14
5	NORRIS Lanchlan	UHC	19:03:38
6	ROE Timothy	IWS	19:03:48

団体総合時間順位

1	TEAM UKYO	57:07:27
2	ISOWHEY SPORTS	57:11:01
3	TABRIZ SHAHRDARY	57:13:41

個人総合ポイント賞

1	CANOLA Marco	NIP	119
2	GARCIA CORTINA Ivan	TBM	73
3	ABERASTURI IZAGA Jon	UKO	69

個人総合山岳賞

1	初山 翔	BGT	41
2	PUJOL MUNOZ Oscar	UKO	15
3	POURHASHEMI Hamid	TST	12

新人賞

1	NOVAK Domen	TBM	19:03:59
2	雨澤 毅明	BLZ	19:06:14
3	山本 大喜	JPN	19:08:50

第1ステージ 堺 (2.65km)

1	SUMMERHILL Daniel	UHC	3:15:53
2	GIACOPPO Anthony	IWS	3:15:98
3	GARCIA CORTINA Ivan	TBM	3:16:36

第2ステージ 京都 (103.8km)

1	CANOLA Marco	NIP	2:44:17
2	ABERASTURI IZAGA Jon	UKO	2:44:24
3	HAEDO Lucas Sebastian	UHC	2:44:24

第3ステージ いなべ (130.7km)

1	CANOLA Marco	NIP	3:11:54
2	HAEDO Lucas Sebastian	UHC	3:11:54
3	ABERASTURI IZAGA Jon	UKO	3:11:54

第4ステージ 美濃 (139.4km)

1	ABERASTURI IZAGA Jon	UKO	3:22:04
2	GIACOPPO Anthony	IWS	3:22:04
3	GARCIA CORTINA Ivan	TBM	3:22:04

第5ステージ 南信州 (123.6km)

1	CANOLA Marco	NIP	3:10:05
2	EARLE Nathan	UKO	3:10:05
3	GARCIA CORTINA Ivan	TBM	3:10:05

第6ステージ 富士山 (11.4km)

1	PUJOL MUNOZ Oscar	UKO	38:50
2	POURHASHEMI Hamid	TST	40:12
3	EARLE Nathan	UKO	40:48

第7ステージ 伊豆 (122.0km)

1	GARCIA Marcos	KIN	3:30:53
2	HARPER Chris	IWS	3:32:32
3	CANOLA Marco	NIP	3:32:45

第8ステージ 東京 (112.7km)

1	INSAUSTI IRASTORZA Ion Ander	TBM	2:14:47
2	阿部 嵩之	BLZ	2:14:47
3	大久保 陣	BGT	2:14:52

第 82 回 全日本選手権自転車競技大会トラックレース



大雨の中、タイムは伸びず

5月13日・14日、宮城県大和町にある宮城県自転車競技場(333m)において、第86回全日本自転車競技大会トラックレースおよび2017年日本パラサイクリング選手権トラックレースが行われた。

両日も気温が低く大雨が降るなかの開催となり、残念ながら好タイムは記録されなかったが、全競技無事に終了することができた。

また、パラサイクリング選手権においては4名の参加ではあったが、藤田征樹が2種目を制した。

男子チームパーシュート優勝の中央大学



男子チームスプリント優勝の明治大学



男子スクラッチのフィニッシュ、一番奥が優勝の高橋



男子ポイントレース、先頭が優勝の今村



パラサイクリングの藤田



女子スクラッチ、先頭が優勝の鈴木



女子チームパーシュートの強化チーム



女子スプリント決勝、手前が優勝の前田



女子ケイリン決勝、先頭が優勝の小林



女子ポイントレース、先頭が優勝の梶原

第86回全日本選手権自転車競技大会
トラックレース(2017/5/13-14 宮城・大和)

男子スプリント

- 1 早坂 秀悟 JPCA JPCU 宮城
- 2 空 位
- 3 中川誠一郎 JPCA JPCU 熊本

男子1kmタイムトライアル

- 1 坂本 紘規 青森 日本大学 1:05.617
- 2 堀 航輝 香川 鹿屋体大 1:06.835
- 3 野上 竜太 岡山 Dream S. 1:07.170

男子4km個人ハーフシュート

- 1 近谷 涼 富山 BSアンカー 4:44.543
- 2 原田 裕成 岡山 愛三工業 4:45.603
- 3 一丸 尚伍 大分 BSアンカー 4:44.658

男子ケイリン

- 1 深谷 知広 JPCA Dream Seeker
- 2 浅井 康太 JPCA Dream Seeker
- 3 坂井 洋 栃木 日本大学

男子スクラッチ

- 1 高橋 優斗 大分 中央大学 18:51.545
- 2 吉岡 衛 奈良 京都産業大学
- 3 一丸 尚伍 大分 BSアンカー

男子ポイントレース

- 1 今村 駿介 福岡 中央大学 35p
- 2 荒井 佑太 宮城 法政大学 35p
- 3 原田 裕成 岡山 愛三工業 27p

男子マディソン

- 1 プリヂストンアンカー 近谷・一丸 25p
- 2 チーム右京 樋口・中井 21p
- 3 宮 城 沢田・荒井 21p

男子チームスプリント

- 1 明治大学 板倉・隈園・荒川 1:03.693
- 2 日本大学 坂井・中島・治田 1:03.902
- 3 Dream Seeker 和田・深谷・野上 1:03.500

男子チームハーフシュート

- 1 中央大学 原井・今村・高橋・橋本 4:22.273
- 2 鹿屋体大 松本・阿部・徳田・長松 4:31.610
- 3 日本大学 草場・沢田・坂本・大屋 4:29.411

女子500mタイムトライアル

- 1 岡本 二葉 東京 日本体育大 37.173
- 2 小泉 夢菜 埼玉 早稲田大学 38.429
- 3 石井 寛子 JPCA JPCU 東京 38.483

女子スプリント

- 1 前田佳代乃 京都 京都車連
- 2 小林 優香 JPCA Dream Seeker
- 3 石井 寛子 JPCA JPCU 東京

女子3km個人ハーフシュート

- 1 梶原 悠未 埼玉 筑波大学 3:51.029
- 2 橋本 優弥 岐阜 鹿屋体大 4:04.675
- 3 古山 稀絵 東京 日本体大 4:07.414

女子ケイリン

- 1 小林 優香 JPCA Dream Seeker
- 2 前田佳代乃 京都 京都車連
- 3 太田 りゆ JPCA JPCU 埼玉

女子スクラッチ

- 1 鈴木 奈央 JPCA JPCU 静岡 14:14.647
- 2 中村 愛花 福井 日本体育大学
- 3 古山 稀絵 東京 日本体育大学

女子ポイントレース

- 1 梶原 悠未 埼玉 筑波大学 41p
- 2 橋本 優弥 岐阜 鹿屋体育大学 24p
- 3 中村 妃智 千葉 日本写真判定 16p

女子マディソン

- 1 強化B 梶原・古山 33p
- 2 強化A 鈴木・中村 22p
- 3 鹿屋体育大 橋本・西島 -5p

女子チームスプリント

- 1 日本体育大学 松本・岡本 50.003
- 2 鹿屋体育大学 橋本・西島 50.088

女子チームハーフシュート

- 1 強化 鈴木・中村・梶原・古山 4:57.038

2017日本ハルサイクリング選手権トラック大会
(2017/5/13 宮城・大和)

ハルサイクリング 500mタイムトライアル

- 1 藤井 美穂 WC2 東京 楽天ソフコB 52.430

ハルサイクリング 1kmタイムトライアル

- 1 藤田 征樹 MC3 茨城 日立建機 1:17.076
- 2 相園健太郎 MC2 福岡 全日空 1:20.726
- 3 川本 翔大 MC2 広島 大和産業 1:21.313

ハルサイクリング 3km個人ハーフシュート

- 1 藤田 征樹 MC3 茨城 日立建機 3:53.885
- 2 川本 翔大 MC2 広島 大和産業 4:05.267
- 3 相園健太郎 MC2 福岡 全日空 4:17.746



男子スプリント決勝、左が優勝の早坂



男子マディソン優勝のアンカーチーム

**PRINCE TOMOHITO MEMORIAL
WORLD GRAND PRIX**

2017 Japan Track Cup I & II

ジャパントラックカップ I & II

7月7日から9日、静岡の日本サイクルスポーツセンター内の伊豆ベロドロームにおいて、2017 ジャパントラックカップ I & II が行われた。

ロシアのデニス・ドミトリエフ、アナスタシア・ヴォイノヴァ、ニュージーランドのサム・ウェブスター、チェコのパヴェク・バベク、オーストラリアのサミュエル・ウェルズフォード、ケランド・オブライエン、シェーン・パーキンス、オランダのマティエス・ブフリ、テオ・ボスなどの強豪が来日し、激しい戦いが繰り広げられた。

最終日には、彬子女王殿下の御臨席があり、大会のご観戦と共に、ナショナルチームへの激励もされた。



JTC1 男子エリートスプリント決勝



JTC1 男子エリートマディソン優勝の AUS



JTC1 男子エリートマディソン 2 位の新村・沢田



JTC1 男子ジュニアスクラッチのフィニッシュ



JTC1 女子エリートケイリン

JTC1 男子エリートケイリン 1/2 決勝



JTC2 男子エリートケイリン決勝



JTC2 女子エリートオムニアム



JTC2 女子エリートケイリン決勝

【競技結果】

**ジヤパントラックカップ I
(2017/7/7 静岡・伊豆ハートロード)**

男子エリートケイリン

- 1 ドミトリエフ デニス RUS
- 2 パーキンズ シェーン DRS
- 3 新田 祐大 DRS

男子エリートスプリント

- 1 ウェブスター サム NZL
- 2 ドミトリエフ デニス RUS
- 3 新田 祐大 DRS

男子エリートタイムツリ

- 1 AUS ウェルズフォード/オブライアン
- 2 CSSG 新村・沢田
- 3 IRI ラジヤブル/ソラビ

女子エリートケイリン

- 1 舩 ウォンギョン DCCT
- 2 ヴォイノヴァ アナスタシア RUS
- 3 小林 優香 DRS

女子エリートスプリント

- 1 ヴォイノヴァ アナスタシア RUS
- 2 舩 ウォンギョン DCCT
- 3 前田佳代乃 JPC

女子エリートタイムツリ

- 1 JPN 鈴木・橋本
- 2 MAS ハンチンセン/ソム ネット
- 3 IRI ハダウアントウ/ナザリ

男子ジュニアケイリン

- 1 中野 慎詞 JPN
- 2 プレクラトク ワルト THA
- 3 トウ ツオハイ HKG

男子ジュニアスクラッチ

- 1 満田 光紀 JPN
- 2 プレクラトク ワルト THA
- 3 ジェムゲインガレゲイアスルビ IRI

女子ジュニアケイリン

- 1 チュ シンウェン TPE
- 2 小泉 夢菜 JPN
- 3 ヤン チャオヤ HKG

女子ジュニアスクラッチ

- 1 池上あかり JPN
- 2 山口 伊吹 JPN
- 3 ホイアン オウ MAC

**ジヤパントラックカップ II
(2017/7/8-9 静岡・伊豆ハートロード)**

男子エリートケイリン

- 1 ブフリ マティス NED
- 2 カン シーフェン TCT
- 3 渡邊 一成 JPC

男子エリートスプリント

- 1 ドミトリエフ デニス RUS
- 2 ウェブスター サム NZL
- 3 脇本 雄太 JPC

男子エリートオムニアム

- 1 ウェルズフォード サミュエル AUS
- 2 橋本 英也 NKGA
- 3 オブライエン ケラント AUS

男子エリートタイムツリ

- 1 AUS ウェルズフォード/オブライアン
- 2 IRI ラジヤブル/ソラビ
- 3 AUSF ヤロリス/スコット

女子エリートケイリン

- 1 舩 ウォンギョン DCCT
- 2 ヴォイノヴァ アナスタシア RUS
- 3 小林 優香 DRS

女子エリートスプリント

- 1 ヴォイノヴァ アナスタシア RUS
- 2 舩 ウォンギョン DCCT

3 前田佳代乃 JPN

女子エリートオムニアム

- 1 鈴木 奈央 JPN
- 2 橋本 優弥 JPN
- 3 中村 妃智 JPHF

女子エリートタイムツリ

- 1 JPN 鈴木・橋本
- 2 MAS ハンチンセン/ソム ネット
- 3 IRI ハダウアントウ/ナザリ

男子ジュニアケイリン

- 1 梶原 海斗 JPN
- 2 センカムオン ワチラウィット THA
- 3 トウ ツオハイ HKG

男子ジュニアポイントレース

- 1 ジェムゲインガレゲイアスルビ IRI
- 2 プレクラトク ワルト THA
- 3 中山 駿 JPN

女子ジュニアケイリン

- 1 松本 詩乃 JPN
- 2 チュ シンウェン TPE
- 3 小泉 夢菜 JPN

女子ジュニアポイントレース

- 1 池上あかり JPN
- 2 山口 伊吹 JPN
- 3 ケストラン カンヤラット THA



KEIRIN 
 この大会は競輪の補助金を受けて開催されました

ツアーオブジャパン第8ステージ(伊豆)

< JCF オフィシャル・スポンサー >



< オフィシャル・サプライヤー >



シクリスムエコー No.225 2017年6・7月号

発行/公益財団法人 日本自転車競技連盟
 発行人/橋本聖子
 編集人/小野口裕朗
 編集事務局/公益財団法人 日本自転車競技連盟 事務局
 〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-1 自転車総合ビル 5F
 TEL 03-6277-2690 FAX 03-6277-2691 <http://www.jcf.or.jp/>